

算数オンライン塾 9月28日の問題 解説

(1)

10は 2×5 ですから、約数は1、2、5、10の4個です。

10以外の数で4つ小さい順に引けば、1、2、3、4で合計10点ですから $10 + 10 = 20$ 点です。

(答え) 20点

(2)

1~13の中で約数の数が一番多いのは12の6個です。

したがって、12を引いて大きい順に6枚引くと

13、11、10、9、8、7となるので合計は58ですから、 $12 + 58 = 70$ 点が最高点です。

(答え) 70点

(3)

カードを引き終わったときに9枚残っているということは4枚引いたことになりませんが、1枚は最初に引いているので3個の約数がある数であることになります。3個の約数は平方数になるので、4か9しかありません。

4だと $43 - 4 = 39$ 点となり、残り3枚で39点になることはできません。

9の場合、残りは $43 - 9 = 34$ 点で、

(13、12、9)と(13、11、10)ですが、最初の組み合わせは9が重なるので不適。

したがって引いた4枚のカードは9、13、11、10になります。

(答え) 9、13、11、10